

働き方改革に関するアンケート調査 集計結果

平成31年2月28日(木) 送付

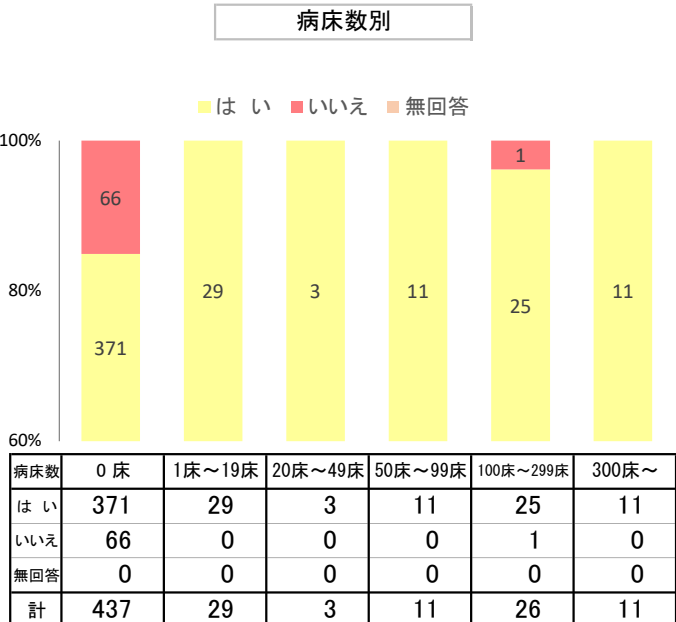
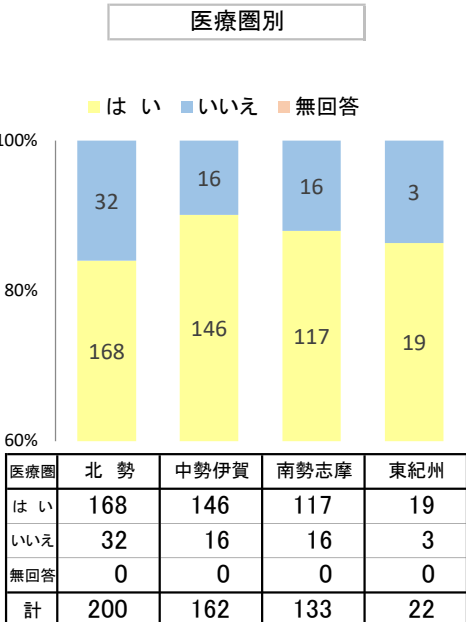
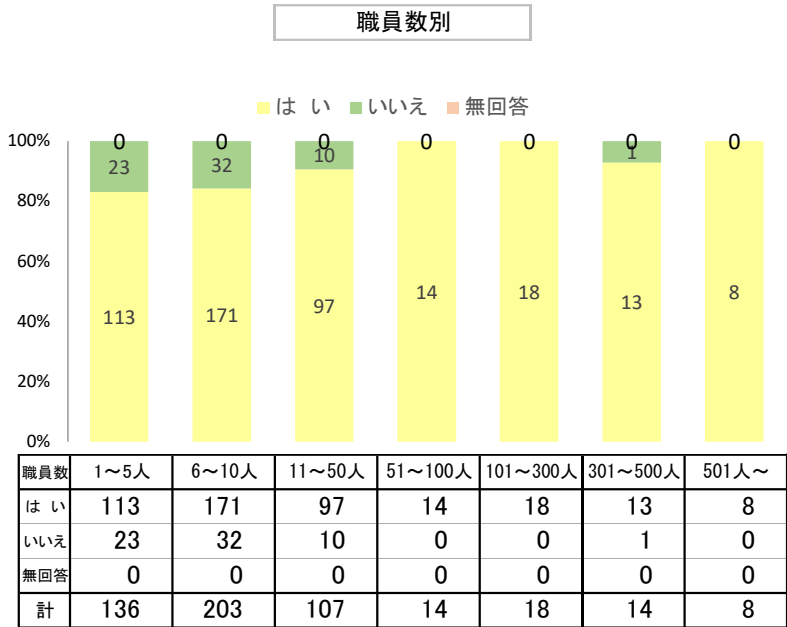
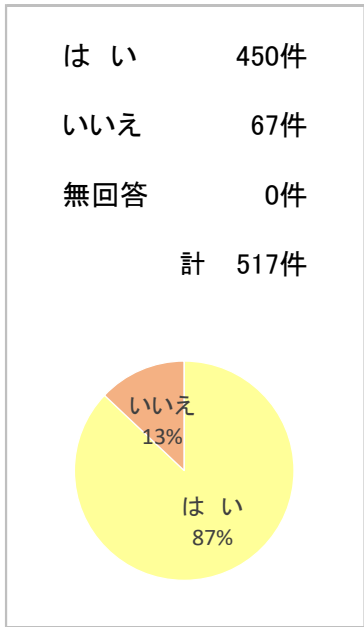
送付件数	1,314 件
回答件数	517 件
回答率	39 %

北 勢	200件(39 %)
中勢伊賀	162件(31 %)
南勢志摩	133件(26 %)
東 紀 州	22件(4 %)
合 計	517件(100 %)

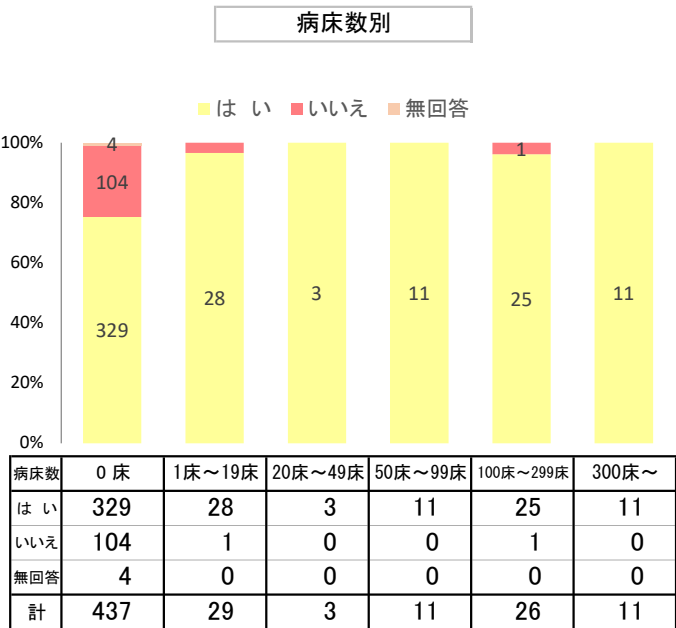
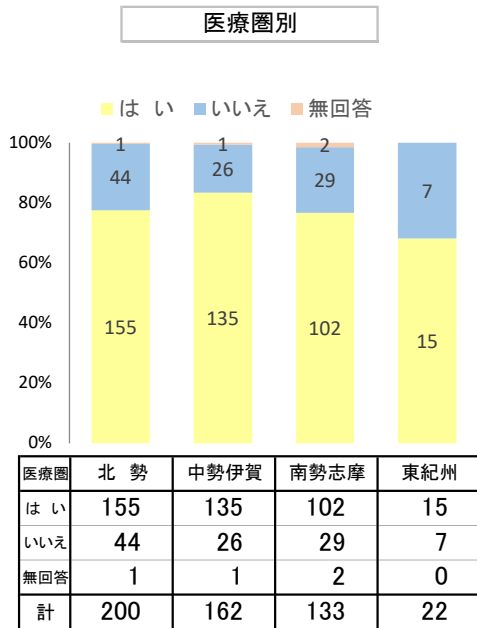
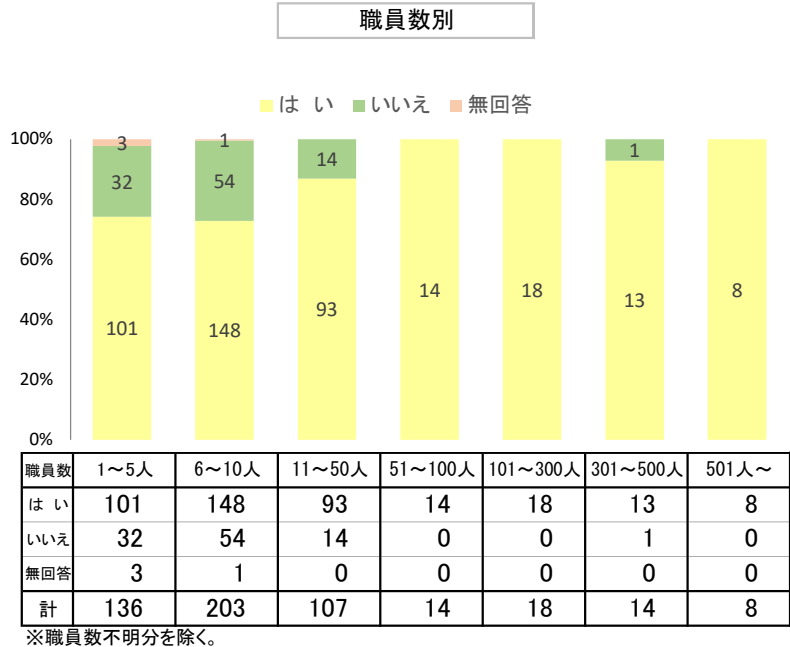
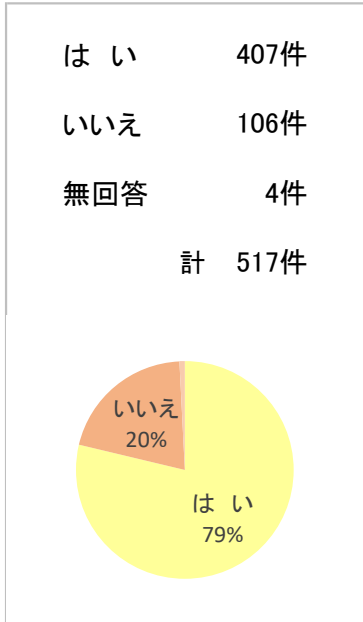
1~5人	136人(26 %)
6~10人	203人(39 %)
11~50人	107人(21 %)
51~100人	14人(3 %)
101~300人	18人(3 %)
301~500人	14人(3 %)
501人~	8人(2 %)
小 計	500人(97 %)
不明	17人(3 %)
合 計	517人(100 %)

0床	437件(85 %)
1床	29件(6 %)
20~49床	3件(1 %)
50~99床	11件(2 %)
100~299床	26件(5 %)
300床~	11件(2 %)
合 計	517件(100 %)

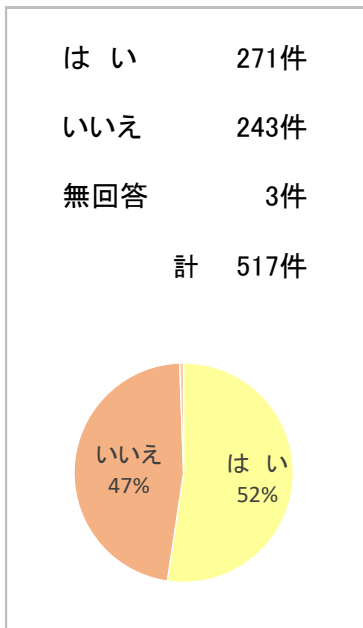
問1 昨年「働き方改革関連の法律改正」があり、本年4月1日以降に順次施行されて、医療機関にも適用されることになったことをご存じですか。



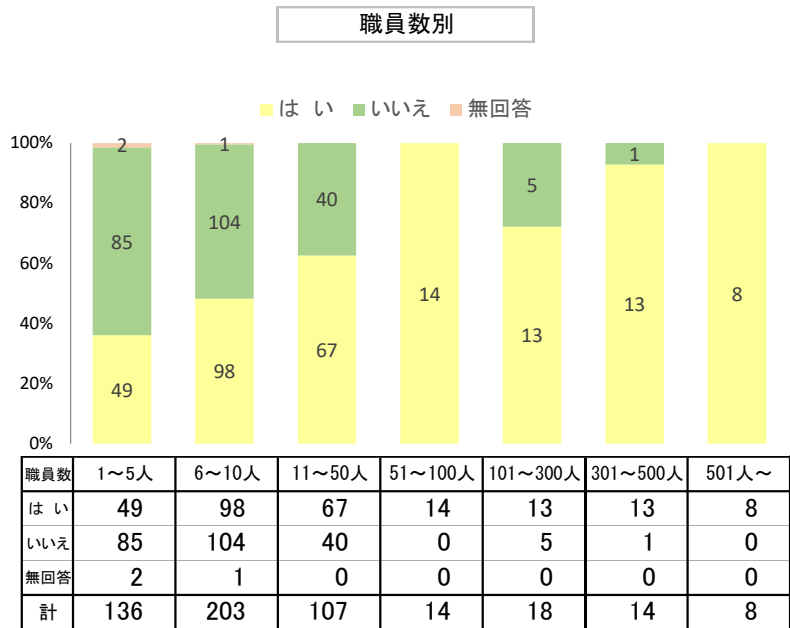
問2 本年4月1日からの改正法施行では、時間外労働の上限規制(医師は2024年度から適用)や年次有給休暇の確実な取得(労働基準法)、労働時間把握徹底(労働安全衛生法)、勤務間インターバル導入(労働時間設定改善法)の内容であることをご存じですか。



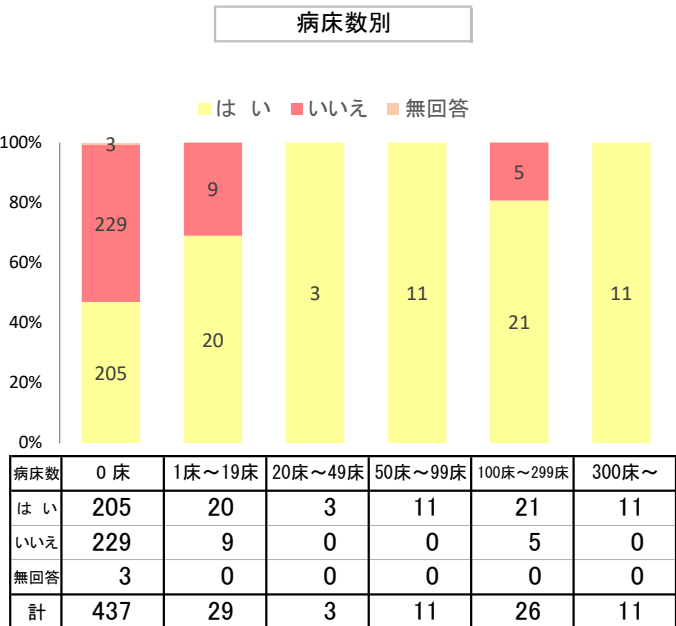
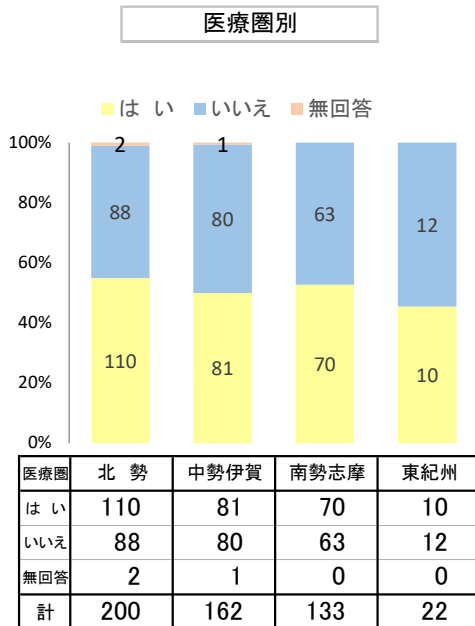
問3 貴院では、法改正への対応について、何か準備を進められていますか。



※法改正に関係なく以前から対応出来ている場合は「はい」に含む。



※職員数不明分を除く。



(問3 法改正への対応について、何か準備を進められていますか。)

◎差し支えがなければ、対応内容等についてご記入下さい。(複数回答可)

① 時間外労働	76	76
② 年次有給休暇の取得	199	199
③ 夜勤負担軽減	9	9
④ 労働時間・勤務シフト見直し	36	36

医療圏	北勢	中勢伊賀	南勢志摩	東紀州	計
①	33	22	20	1	76
②	86	59	48	6	199
③	4	3	1	1	9
④	18	9	8	1	36

① 時間外労働	76	33	22	20	1	北勢
② 年次有給休暇の取得	199	86	59	48	6	中勢伊賀
③ 夜勤負担軽減	9	4	3	1	1	南勢志摩
④ 労働時間・勤務シフト見直し	36	18	9	8	1	東紀州

職員数	1～5人	6～10人	11～50人	51～100人	101～300人	301～500人	501人～	計	※職員数不明分を除く。
①	8	17	18	8	8	8	6	73	
②	34	70	46	11	12	10	8	191	
③	1	2	1	1	0	2	2	9	
④	6	7	13	2	4	1	0	33	

① 時間外労働	73	8	17	18	8	8	8	6	1人～
② 年次有給休暇の取得	191	34	70	46	11	12	10	8	6人～
③ 夜勤負担軽減	9	1	2	1	1	2	2		11人～
④ 労働時間・勤務シフト見直し	33	6	7	13	2	4	1		51人～

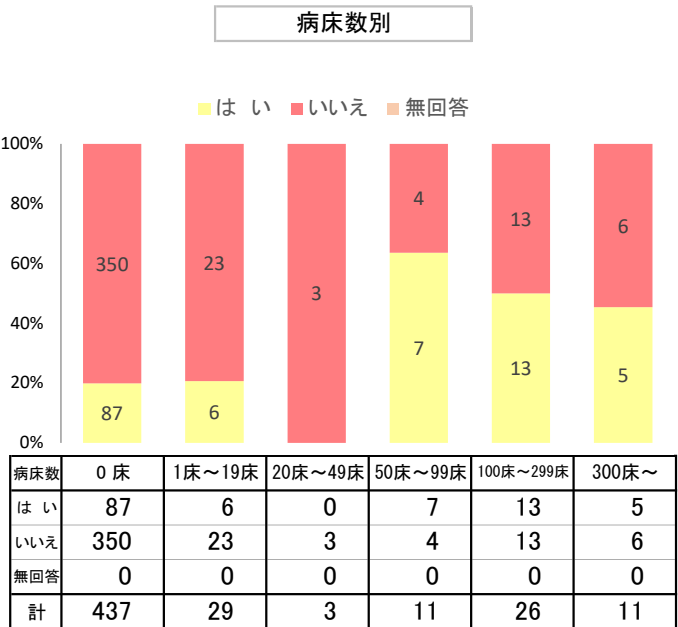
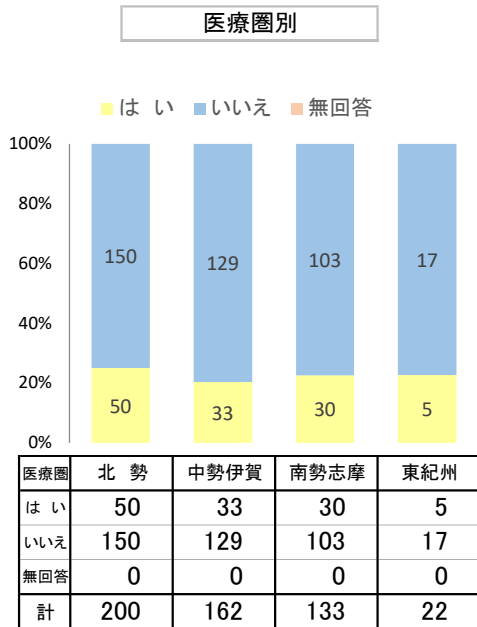
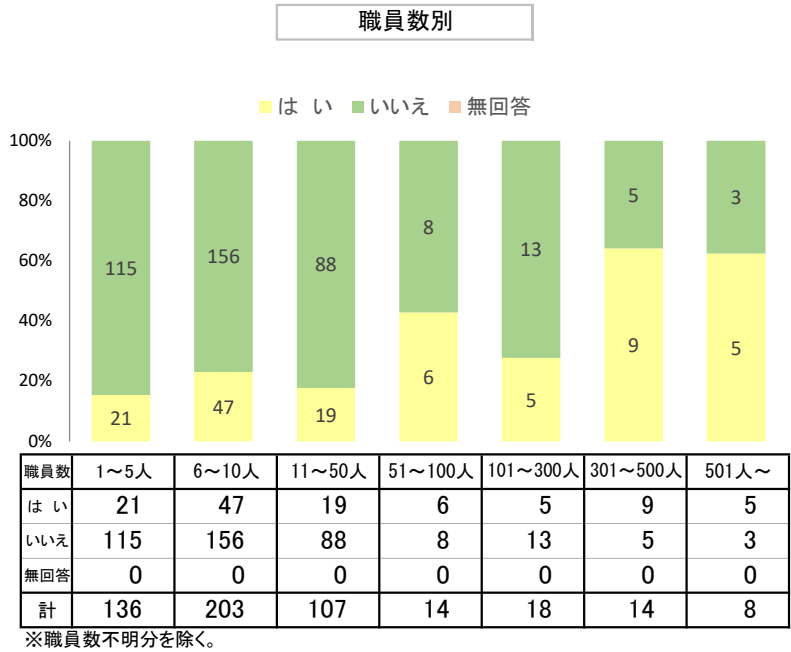
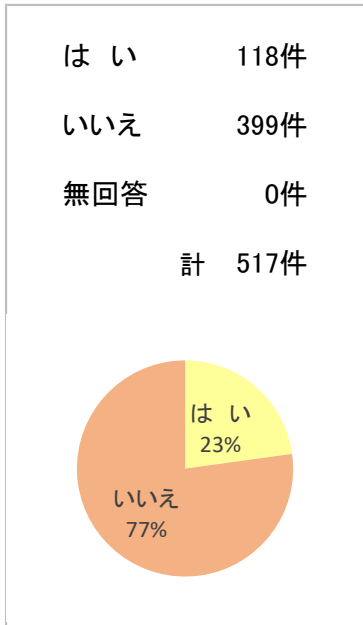
病床数	0床	1床～19床	20床～49床	50床～99床	100床～299床	300床～	計
①	40	8	1	5	13	9	76
②	144	16	2	9	18	10	199
③	4	0	1	0	2	2	9
④	25	5	0	2	3	1	36

① 時間外労働	76	40	8	1	5	13	9	0床
② 年次有給休暇の取得	199	144	16	9	18	10		1床～
③ 夜勤負担軽減	9	4	0	1	0	2	2	20床～
④ 労働時間・勤務シフト見直し	36	25	5	2	3	1		50床～

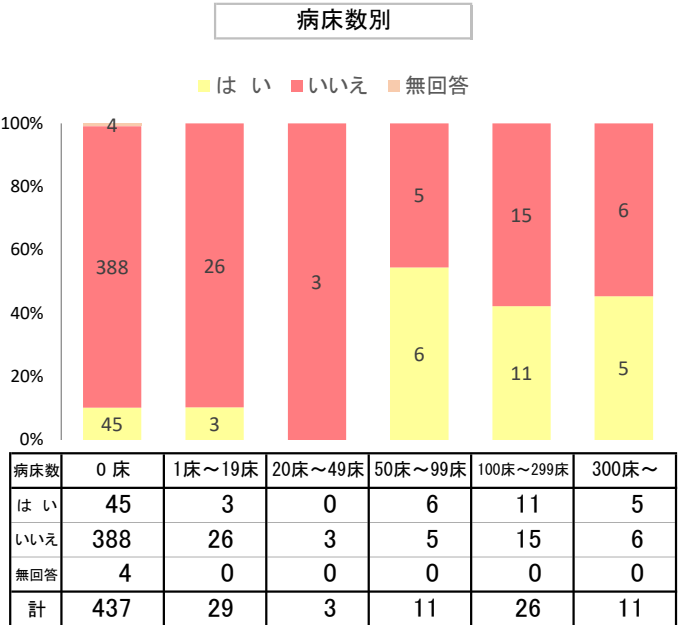
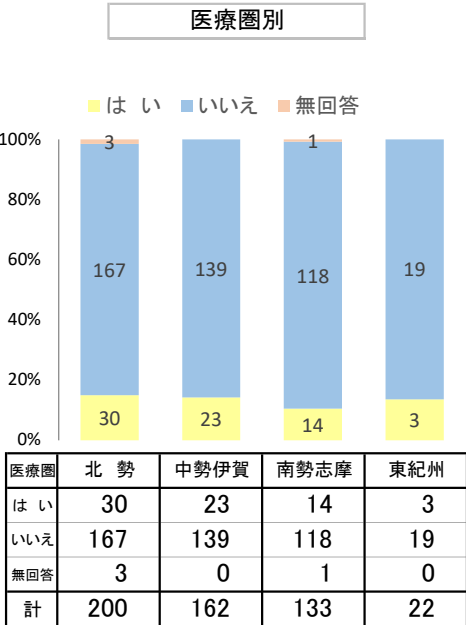
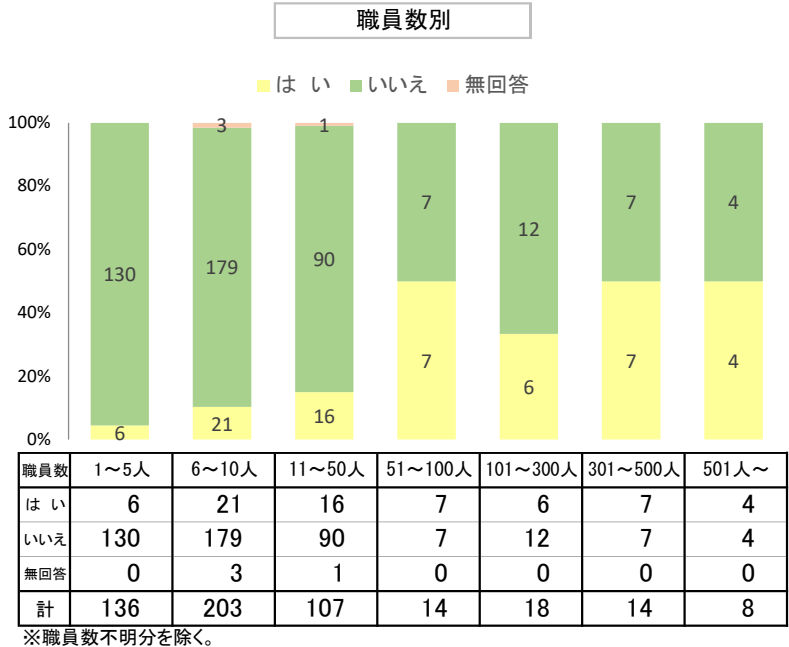
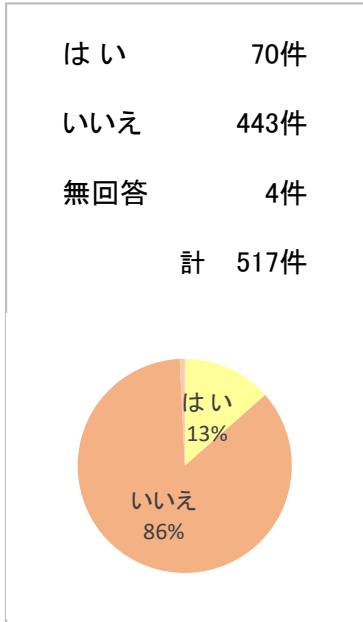
⑤ その他

- ・ 勤怠システムの活用による有休取得状況の明示化。
- ・ 2021年～常勤・パート職員共に同一労働同一賃金となるようにする。
- ・ 各自、休日の取得のとりやすい環境づくり(早めにスケジュール表に記入するなど)。
- ・ 同一労働同一賃金を考慮し、full part→常勤とする予定です(2人)。
- ・ 4/1より(土)の診療を毎週(AMのみ)から第1・第3週(AMのみ)に減じました。
- ・ 会議の開始時刻を早める。
- ・ 事務の業務を他部署で手伝い、事務の時間外を減らすようにしています。

問4 当センターは、医療機関に特化した支援機関として、「働き方改革の取組」に限らず日ごろの労務管理におけるお悩み・ご質問等について、専門のアドバイザーが無料で電話相談や訪問支援等を行っております。
 アドバイザーによる助言等を利用したいと思われませんか。

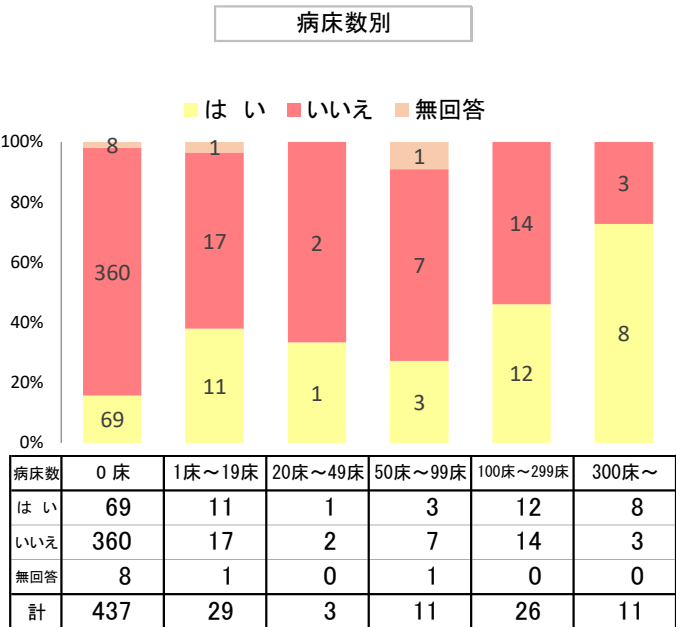
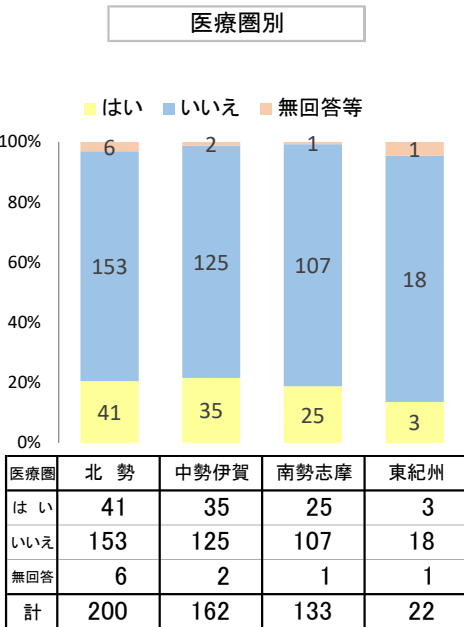
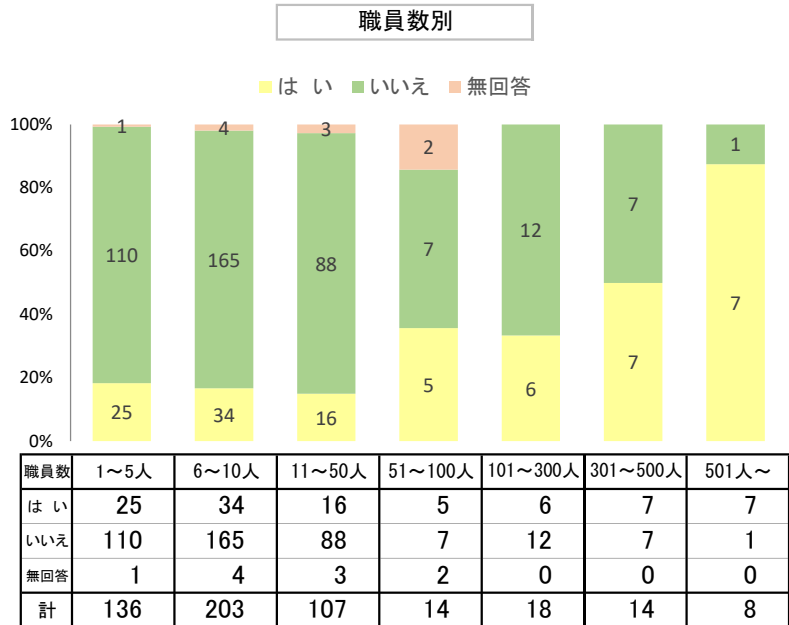
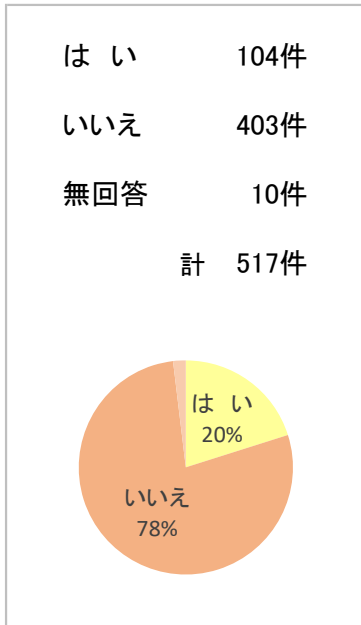


問5 当センターでは、各医療機関で実施される労務管理(「働き方」やハラスメント対策等)に関する勉強会やセミナーへの講師派遣(無料)も行います。
当センターからの講師派遣を希望したいと思われますか。



問6 医師の時間外労働上限規制については5年の猶予期間を設け、将来の適正な姿を国において検討されることとなります。

貴院では、当面、過重状態が見られる医師業務について「医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組」等は実施されていますか。

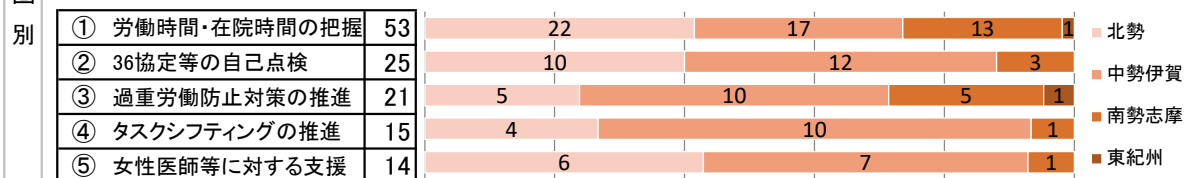


(問6 「医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組」等は実施されていますか。)

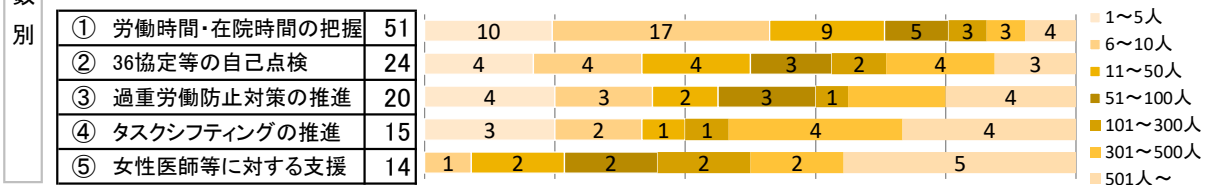
◎差し支えがなければ、取組内容等についてご記入下さい。(複数回答可)

① 労働時間・在院時間の把握	53	53
② 36協定等の自己点検	25	25
③ 過重労働防止対策の推進	21	21
④ タスクシフティングの推進	15	15
⑤ 女性医師等に対する支援	14	14

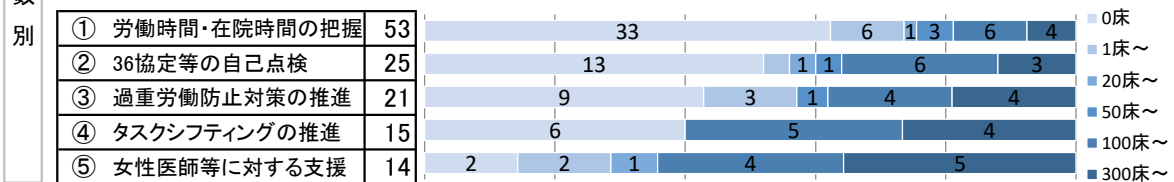
医療圏	北勢	中勢伊賀	南勢志摩	東紀州	計
① 労働時間・在院時間の把握	22	17	13	1	53
② 36協定等の自己点検	10	12	3	0	25
③ 過重労働防止対策の推進	5	10	5	1	21
④ タスクシフティングの推進	4	10	1	0	15
⑤ 女性医師等に対する支援	6	7	1	0	14



職員数	1~5人	6~10人	11~50人	51~100人	101~300人	301~500人	501人~	計	※職員数不明分を除く。
① 労働時間・在院時間の把握	10	17	9	5	3	3	4	51	
② 36協定等の自己点検	4	4	4	3	2	4	3	24	
③ 過重労働防止対策の推進	4	3	2	3	1	3	4	20	
④ タスクシフティングの推進	3	2	1	0	1	4	4	15	
⑤ 女性医師等に対する支援	0	1	2	2	2	2	5	14	



病床数	0床	1床~19床	20床~49床	50床~99床	100床~299床	300床~	計
① 労働時間・在院時間の把握	33	6	1	3	6	4	53
② 36協定等の自己点検	13	1	1	1	6	3	25
③ 過重労働防止対策の推進	9	3	0	1	4	4	21
④ タスクシフティングの推進	6	0	0	0	5	4	15
⑤ 女性医師等に対する支援	2	2	1	0	4	5	14



⑤ 医療機関の状況に応じた取組

- ・ 繁忙期は医師・スタッフの体調を考え、時間外労働の制限をしています。
- ・ 医師は院長で経営者のため36協定の対象外ですが、なるべく他の職員で分担(一部紹介状を認定視能訓練士が作成し説明する等)しています。
- ・ 医師の増員
- ・ 時間外診療の中止
- ・ 午後診療を予約制として時間内に外来を終了させる様努めている。
- ・ 休診日増の検討
- ・ 診療時間の短縮の実施
- ・ 土日の当直医の依頼